

第3回パリMOU・東京MOU合同閣僚会議の概要

1. 会議の目的等

- ・ 前回の第2回会議（平成16年11月にカナダ・バンクーバーで開催）後の規制強化、PSC強化等の努力にもかかわらず、依然として、サブスタンダード船に起因する海難が発生し人命の喪失、海洋汚染といった深刻な問題が発生。
- ・ このため、PSCを軸に更なる政策協調を図り船舶の運航に関わる海事関係者が一丸となってサブスタンダード船を排除するとの強い意志をアピールするための宣言を採択するとともに、PSC実施当局が一堂に参集し意見の交換を行う。

2. 会期

平成29年5月3日（水）及び4日（木）（現地時間）

3. 開催場所

カナダ・バンクーバー

4. 我が国政府代表団

大野泰正国土交通大臣政務官、大坪新一郎大臣官房技術審議官ほか

5. 参加国等（予定）

（1）パリMOU加盟国（23カ国）

ベルギー、クロアチア、キプロス、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、リトアニア、マルタ、オランダ、ノルウェイ、ポーランド、スロベニア、スウェーデン、英国、カナダ*、ロシア*

（2）東京MOU加盟国等（16カ国（地域））

豪州、チリ、中国、香港、日本、韓国、マーシャル諸島、ニュージーランド、パプアニューギニア、ペルー、フィリピン、タイ、バヌアツ、ベトナム、カナダ*、ロシア*

*カナダ、ロシアは両MOUに加盟しており、合計37の加盟国等が参加予定。

（3）オブザーバー等

パナマ（東京MOUの準加盟国）、マカオ、トンガ、米国
アブジャMOU、黒海MOU、カリブ海MOU、インド洋MOU、
ラテンアメリカMOU、IMO（国際海事機関）、ILO（国際労働機関）、
IACS（国際船級協会）、ICS（国際船主協会）、ITF（国際運輸労連）

(参 考)

1. 「P S C」(ポートステートコントロール : Port State Control)

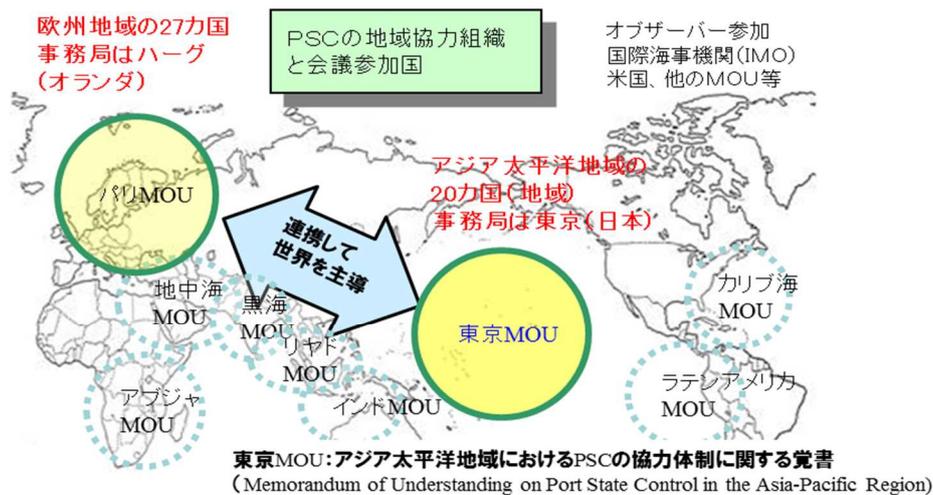
旗国は、自国籍船が国際条約の基準に適合していることを確認する義務がある。しかしながら実際には、サブスタンダード船(基準に適合していない船舶)が存在しており、国際的にこうした船舶の排除が重要な課題となっている。本来は旗国が果たすべき役割を補完するため、寄港国の権利として、自国に入港する外国船舶への立入検査がIMO(国際海事機関)の条約等により認められている。

2. 「MOU」(エムオーユー : Memorandum of Understanding)

P S Cの効果を上げるためには、周辺諸国との情報共有などの協力が不可欠であり、そのために各国の海事当局が結んだ覚書。MOU参加国は、過去の基準不適合船に関する情報共有や、P S C官の研修訓練等を共同で実施している。

現在、以下のとおり、世界の9地域にMOUが設立されている。

- | | |
|--------------|-----------------------|
| ① パリMOU | ⑥ インド洋MOU |
| ② ラテンアメリカMOU | ⑦ アブジャMOU(西・中央アフリカ地域) |
| ③ 東京MOU | ⑧ 黒海MOU |
| ④ カリブ海MOU | ⑨ リヤドMOU(中東・アラビア湾地域) |
| ⑤ 地中海MOU | |



MOUでは、PSC検査官の教育訓練、検査手順の取決め、検査情報の共有等の協力を行っている

3. 「海王丸」

独立行政法人海技教育機構が運航する5隻の練習船のうちの1隻であり、初代海王丸の代替として1989年に建造された。主な仕様は次のとおり。

- (1) 全長 : 110m
- (2) 総トン数 : 2,556トン
- (3) 最大搭載人員 : 乗組員71名、実習生128名
- (4) 今次遠洋航海(4月5日~6月9日) 東京~リッチモンド~ホノルル~東京
実習生 110名 乗組員 58名 計 168名